

第35回『国際障害者年』連続シンポジウム

障害者にとって

「働くこと」や「仕事」について考える ～「働く」ときの介護保障や合理的配慮と、 「生産性」優位社会について～

開催日時

2020年12月19日(土) 13時30分～16時30分
(13時より入室可能です)

開催場所

オンライン配信 (Web申し込みが必要です)

講演予定者

基調講演



木村 英子 氏
れいわ新選組
参議院議員



小暮 理佳 氏
SMA II型当事者



岡本 直樹 氏
DPII日本会議常任委員
(雇用・労働・所得保障部会)
CILふちゅう代表



尾下 葉子 氏
線維筋痛症友の会
関西支部

中村 健太郎 氏
厚生労働省職業安定局
雇用促進係長

ピープルファースト京都
メンバー

お問合せ先

【情報保障】要約筆記あり。点字資料・手話通訳
ご希望の方は12月10日(木)までに下記へ
ご連絡ください。

京都市南区東九条松田町28
メゾングラス京都十条101
日本自立生活センター(JCIL) 気付
「国際障害者年」連続シンポジウム実行委員会
事務局

Tel: 075-671-8484 Fax: 075-671-8418
mail: jcil@cream.plala.or.jp

後援 京都府、京都市、京都府社会福祉協議会、京都市社会福祉協議会、
公益財団法人京都新聞社会福祉事業団

申し込み

今回のシンポジウムはオンラインセミナーサービスの「Zoomウェビナー」で実施します。事前申込制のため、参加をご希望の方は下記のURLにアクセスし、入力フォームに必要事項を記入の上、「登録」ボタンを押してください。登録が完了すると直ちに入力いただいたメールアドレスに「ウェビナー参加用のURL」が送られてくるので、当日はそちらからご参加ください。(下記URLはJCILホームページにも掲載します。)

https://us02web.zoom.us/join/register/WN_0A1gbyJwSaSr0PLvVhoBag





しょうがいしゃの
社会参加の
実現に向けて

基調講演

木村 英子 氏

れいわ新選組
参議院議員

昨年7月に、しょうがいしゃが地域で生きるには、運動をしなければ、命すら保障され、深刻な状況に置かれて、この社会を変え、国土交通委員会の所属し、重度しょうがい選。国会では、かから質を1～2席に増えるなど、当事者の立場、車いす者のために活動するとも生きて、しょうがいしゃが生きて、誰かそれを実現するために闘っている。



わたしの就職活動

小暮 理佳 氏

SMAⅡ型当事者

1996年埼玉県生まれ、大阪府吹田市育ち。SMA（脊髄性筋萎縮症）Ⅱ型。実家で暮らしながら、主にウィークデーはヘルパーさんから介助を受けて生活。関西大学文学部教育文化専修卒（教員免許も取得）。現在は『SMA SHIP』というSMA当事者の団体の運営などに携わる。



線維筋痛症患者と
社会参加

尾下 葉子 氏

線維筋痛症友の会
関西支部

難治性慢性疼痛疾患である線維筋痛症等々の持病のために、家事はほぼ放棄して、布団の中でタブレットと戯れていることが多い。自称「布団星人」。患者会「線維筋痛症友の会」では、交流会や医療講演会の開催、患者の生活実態調査とその結果の発信などを担っている。



障害×働くこと

岡本 直樹 氏

DPI日本会議常任委員
(雇用・労働・所得保障部会)
CILふちゅう代表

札幌出身、筋ジストロフィー症の当事者。高校時代に国立療養所八雲病院で療養。18歳で地元に戻り一般就労を目指すも自力通勤を理由に断念、共同作業所、地元のCILを転々とする。2015年に本格的なCILを学ぶため単身上京。2018年に代表が亡くなり、なぜか代表に。2018年からDPIの活動に参加、今年から正式に常任委員となり、雇用・労働・所得保障部会の一員として、奮闘中。

中村 健太郎 氏

厚生労働省
職業安定局雇用促進係長

障害者雇用対策の現状と今後の展望